

障害福祉サービス等利用者数及びサービス量の見込みの考え方について

基本的な考え方について

- ①「1 障害福祉サービス等利用者数及びサービス量の見込み」において、第6期において想定されるサービスの必要な量の見込み等を定めます。
- ② ①により算出された利用見込について、サービスの利用を希望される方が希望どおりにサービスを利用できるよう、必要量を確保するため、サービスを提供する基盤（事業所数・定員数）を整備する必要があります。この必要な整備について、「2 基盤整備計画の考え方について」に記載しています。

サービス等利用者・見込量 算出方法について

R2 見込利用者数：R1利用者数×伸び率（H30→R1）＝A
見込利用量：一人当たり利用量（※）×R2見込利用者数（A）

R3～R5 見込利用者数：前年度利用者見込数×伸び率（H30→R1）＝B
見込利用量：一人当たり利用量（※）×見込利用者数（B）
※一人当たり利用量：R1利用量÷R1利用人数

※ピンクの文字のサービスが、ニーズの増加が見込まれるサービスです。
※次期計画冊子では、各法定サービスのページの活動指標として掲載する予定です。（>>計画23～60ページ>>）

1 障害福祉サービス等利用者数及びサービス量の見込み

(1)訪問系サービス

【1月あたり】

区分		R2(見込み)		R3		R4		R5	
		利用者数 (人)	利用量 (時間)	利用者数 (人)	利用量 (時間)	利用者数 (人)	利用量 (時間)	利用者数 (人)	利用量 (時間)
居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援	①	1,099	31,341	1,122	33,040	1,146	34,860	1,172	36,809
	②	23	1,699	24	1,820	26	1,949	27	2,089
	③								
	④								
	計	1,122	33,040	1,146	34,860	1,172	36,809	1,199	38,898
※参考：令和2年3月における支給決定サービス量の総計(時間)		54,073							

- ①前年度末の数量
②当該年度に増加が見込まれる数量
③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）
④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

(2) 日中活動系サービス

【1月あたり】

区分		R2(見込み)		R3		R4		R5	
		利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)
生活介護	①	1,384	27,378	1,426	29,322	1,470	30,223	1,515	31,148
	②	42	1,944	44	901	45	925	46	946
	③								
	④								
	計	1,426	29,322	1,470	30,223	1,515	31,148	1,561	32,094
自立訓練(機能訓練)	①	24	248	27	265	33	325	40	394
	②	3	17	6	60	7	69	9	89
	③								
	④								
	計	27	265	33	325	40	394	49	483
自立訓練(生活訓練)	①	40	484	37	482	37	482	37	482
	②								
	③	-3	-2						
	④								
	計	37	482	37	482	37	482	37	482
就労移行支援	①	190	3,238	218	3,754	249	4,298	285	4,919
	②	28	516	31	544	36	621	41	708
	③								
	④								
	計	218	3,754	249	4,298	285	4,919	326	5,627
就労継続支援(A型)	①	458	9,529	491	10,351	527	11,104	565	11,905
	②	33	822	36	753	38	801	41	863
	③								
	④								
	計	491	10,351	527	11,104	565	11,905	606	12,768
就労継続支援(B型)	①	1,372	28,468	1,502	28,468	1,645	31,173	1,801	34,129
	②	130		143	2,705	156	2,956	171	3,240
	③								
	④								
	計	1,502	28,468	1,645	31,173	1,801	34,129	1,972	37,369
就労定着支援 ※H30~の新規サービスのた め、利用期間満了による退所者数 を見込む	①	47	-	96	-	173	-	377	-
	②	49	-	100	-	228	-	442	-
	③		-	-23	-	-24	-	-49	-
	④		-		-		-		-
	計	96	-	173	-	377	-	770	-
計	①	3,515	69,345	3,797	72,642	4,134	77,605	4,620	82,977
	②	285	3,299	360	4,963	510	5,372	750	5,846
	③	-3	-2	-23		-24		-49	
	④								
	計	3,797	72,642	4,134	77,605	4,620	82,977	5,321	88,823

①前年度末の数量

②当該年度に増加が見込まれる数量

③当該年度に減少が見込まれる数量(マイナス表記)

④その他勘案する事項により変動する数量(減分はマイナスで表記)

(3) 療養介護

【1月あたり】

区分		R2(見込み)	R3	R4	R5
		利用者数 (人)	利用者数 (人)	利用者数 (人)	利用者数 (人)
療養介護	①	107	107	107	107
	②				
	③				
	④				
	計	107	107	107	107

①前年度末の数量

②当該年度に増加が見込まれる数量

③当該年度に減少が見込まれる数量(マイナス表記)

④その他勘案する事項により変動する数量(減分はマイナスで表記)

(4) 短期入所

【1月あたり】

区分		R2(見込み)		R3		R4		R5	
		利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)
福祉型短期入所	①	183	938	286	1,358	303	1,439	321	1,525
	②	103	420	17	81	18	86	19	90
	③								
	④								
	計	286	1,358	303	1,439	321	1,525	340	1,615
医療型短期入所	①	50	207	71	291	72	295	73	299
	②	21	84	1	4	1	4	1	4
	③								
	④								
	計	71	291	72	295	73	299	74	303
計	①	233	1,145	357	1,649	375	1,734	394	1,824
	②	124	504	18	85	19	90	20	94
	③								
	④								
	計	357	1,649	375	1,734	394	1,824	414	1,918

- ①前年度末の数量
 ②当該年度に増加が見込まれる数量
 ③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）
 ④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

(5) 居住支援系サービス

【1月あたり】

区分		R2(見込み)	R3	R4	R5	左記見込み量のうち精神障がい者数(人)			
		利用者数 (人)	利用者数 (人)	利用者数 (人)	利用者数 (人)	R2 (見込み)	R3	R4	R5
自立生活援助	①								
	②								
	③								
	④								
	計								
共同生活援助	①	351	417	484	554				
	②	66	67	70	72				
	③					112	130	148	168
	④								
	計	417	484	554	626				
うち日中サービス支援型	①		40	80	120				
	②	40	40	40	40				
	③					11	21	32	43
	④								
	計	40	80	120	160				
施設入所支援 ※	①	573	570	567	565				
	②	—	—	—	—				
	③	-3	-3	-2	-2				
	④								
	計	570	567	565	563				

- ①前年度末の数量
 ②当該年度に増加が見込まれる数量
 ③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）
 ④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

※施設入所支援は、過齢児の者切替分を含む。また、成果目標で設定した「地域生活への移行者数」を控除した数量とする。
 ※日中サービス支援型は、H30新設サービスであり、R1年度において市内事業所も少なく、単純推計不可であるため、市内入所待機者の増加状況等を踏まえ数値を見込む。

(6) 計画相談支援（障害児相談支援含む）

【年度毎の利用者数の合計】

区分		参考 セルフプラン数(人)							
		R2(見込み) 利用者数 (人)	R3 利用者数 (人)	R4 利用者数 (人)	R5 利用者数 (人)	R2 (見込み)	R3	R4	R5
計画相談支援	①	4,439	4,661	4,894	5,139	280	280	280	280
	②	222	233	245	257				
	③								
	④								
	計	4,661	4,894	5,139	5,396				
障害児相談支援	①	1,756	2,160	2,657	3,268	400	400	400	400
	②	404	497	611	752				
	③								
	④								
	計	2,160	2,657	3,268	4,020				

①前年度末の数量

②当該年度に増加が見込まれる数量

③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）

④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

※障がい児が訪問系サービス等者のサービスを利用している場合は、計画相談支援にも利用児童数（実数）を見込む

(7) 地域相談支援

【年度毎の利用者数の合計】

区分		左記見込み量のうち精神障がい者数(人)							
		R2(見込み) 利用者数 (人)	R3 利用者数 (人)	R4 利用者数 (人)	R5 利用者数 (人)	R2 (見込み)	R3	R4	R5
地域移行支援	①	1	1	1	1	1	1	1	1
	②								
	③								
	④								
	計	1	1	1	1				
地域定着支援	①	6	5	5	5	4	4	4	4
	②								
	③	-1							
	④								
	計	5	5	5	5				

①前年度末の数量

②当該年度に増加が見込まれる数量

③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）

④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

(8) 障害児通所支援

【1月あたり】

区分		R2(見込み)		R3		R4		R5	
		利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)	利用者数 (人)	利用量 (人日)
児童発達支援	①	480	4,903	626	6,741	817	8,799	1,066	11,481
	②	146	1,838	191	2,058	249	2,682	324	3,489
	③								
	④								
	計	626	6,741	817	8,799	1,066	11,481	1,390	14,970
医療型児童発達支援	①								
	②								
	③	現時点で利用者がいないため、推計値の単純算出不可							
	④								
	計								
放課後等デイサービス	①	1,459	19,504	1,580	22,008	1,712	23,848	1,854	25,826
	②	121	2,504	132	1,840	142	1,978	154	2,145
	③								
	④								
	計	1,580	22,008	1,712	23,848	1,854	25,826	2,008	27,971
保育所等訪問支援	①	10	18	11	36	12	39	13	42
	②	1	18	1	3	1	3	1	3
	③								
	④								
	計	11	36	12	39	13	42	14	45
居宅訪問型児童発達支援	①	1	1	1	1	1	1	1	1
	②								
	③								
	④								
	計	1	1	1	1	1	1	1	1

①前年度末の数量

②当該年度に増加が見込まれる数量

③当該年度に減少が見込まれる数量（マイナス表記）

④その他勘案する事項により変動する数量（減分はマイナスで表記）

2 基盤整備計画の考え方について

(1) サービス提供が不足する人数

各年度のサービス提供状況から、サービス提供が不足すると考えられる人数
【定員見込数－利用者見込数】がマイナスとなった場合、サービス提供が不足する。
 ○定員見込数：既存施設の定員数＋新規施設整備により見込れる定員数
 ○利用者見込数：前ページ参照

【参考】各サービスの利用者見込の単純増減数
 各サービス各年度の増加人数（1ページ目参照）

区分	R3	R4	R5	合計
生活介護	44	45	46	135
自立訓練（機能訓練）	6	7	9	22
自立訓練（生活訓練）				
就労移行支援	31	36	41	108
就労継続支援（A型）	36	38	41	115
就労継続支援（B型）	143	156	171	470
就労定着支援	77	204	393	674
療養介護				
福祉型短期入所	17	18	19	54
医療型短期入所	1	1	1	3
自立生活援助				
共同生活援助	67	70	72	209
うち日中サービス支援型				
施設入所支援	-3	-2	-2	-7
児童発達支援	191	249	324	764
医療型児童発達支援				
放課後等デイサービス	132	142	154	428
保育所等訪問支援	1	1	1	3

このうち、特に、定員の不足が予想されるもの



区分	R3 (Bの不足)	R4 (Cの不足)	R5 (Dの不足)	合計
生活介護				
自立訓練（機能訓練）	3			3
自立訓練（生活訓練）	5			5
就労移行支援	13	29	30	72
就労継続支援（A型）	77	35	36	148
就労継続支援（B型）			132	132
就労定着支援		17	370	387
療養介護				
福祉型短期入所	17	18	19	54
医療型短期入所				
自立生活援助				
共同生活援助	65	70	72	207
うち日中サービス支援型	40	40	40	120
施設入所支援				
児童発達支援	395	244	318	957
医療型児童発達支援				
放課後等デイサービス	496	138	152	786
保育所等訪問支援				

(2) 新規整備が必要な事業所数・定員数 >>> 計画61ページ >>>

定員の不足を補うための体制の確保

区分	R3		R4		R5		合計	
	箇所数	定員数	箇所数	定員数	箇所数	定員数	箇所数	定員数
生活介護	1	20	1	20	1	20	3	60
自立訓練（機能訓練）	1	20					1	20
自立訓練（生活訓練）	1	20					1	20
就労移行支援	1	20	2	40	2	40	5	100
就労継続支援（A型）	4	80	2	40	2	40	8	160
就労継続支援（B型）					7	140	7	140
就労定着支援			1	40	10	400	11	440
療養介護								
福祉型短期入所	9	18	9	18	10	20	28	56
医療型短期入所								
自立生活援助	1		1		1		3	
共同生活援助	7	70	7	70	8	76	22	216
うち日中サービス支援型	2	40	2	40	2	40	6	120
施設入所支援								
児童発達支援	40	400	25	250	32	320	97	970
医療型児童発達支援					1	10	1	10
放課後等デイサービス	50	500	14	140	16	160	80	800
保育所等訪問支援								

整備にあたり、特殊な事情を考慮するもの

① 生活介護

R2時点で既にR5までに必要な定員数を確保済であるが、医療的ケアの必要な重症心身障害者の受け皿が依然として不足しており、これに対応する生活介護は引き続き必要であることから、各年度に1事業所ずつ整備を盛り込む。

② 自立生活援助

H30創設の新サービスであり、これまでに新設の相談等はなく利用者もいないものの、1人暮らしを支え、障がい者の地域での生活を支援するためのサービスであることを鑑み、3区に1事業所ずつの整備を盛り込む。

③ 日中サービス支援型GH

単純推計上ではサービスのニーズは小さいが、施設入所待機者の受け皿として、また、8050問題や親亡き後の受け皿として期待されるサービスであることから、各年度に2事業所ずつ整備を盛り込む。

④ 医療型児童発達支援

現在、市内に事業所がなく、利用者もいないものの、医療的ケア児及び重症心身障害児の受け皿として、医師の配置によりより手厚い見守り体制を可能とする当該事業所について、1事業所の整備を盛り込む。

⑤ 児童発達支援・放課後等デイサービス

現在単純推計によるニーズの増加では、施設整備数、増加定員数ともに非現実的な数値となることから、算出方法について、検討を行う。

注1) 事業所数の算出方法：各年度不足定員数÷1事業所あたり想定定員数(A)

(1事業所あたり想定定員数(A)の考え方)

日中活動系：原則1事業所あたり20名と設定

【短期入所】「空床型」事業所で賄える利用者数が流動的であり、必要な定員数が算出困難なため、

対前年度利用者増加分を賄うために必要な事業所数として1事業所あたり2名と設定

【就労定着支援】定員がないが、支援員一人あたりの支援上限40名であることから、1事業所あたり40名と設定

居住系：【GH】1事業所あたり6名／【日中サービス支援型】1事業所あたり20名

障害児：1事業所あたり10名と設定

注2) 次期計画掲載にあたっては、現計画と同様に、R元年度末（各区ごと）と、R5年度末整備後見込数値を掲載することを予定。

【社会福祉施設等施設整備補助金の活用による整備の推進について】

新規整備が必要な事業所のうち、以下の条件のいずれかを満たすものについて、施設整備補助金の活用を検討。

- ①特にニーズが高いもの
- ②大規模な施設を必要とするもの
- ③採算性が特に低い等により民間事業者の参入が困難であることが予想されるもの

「日中サービス支援型GH」、「短期入所」、「医療型児童発達支援」、「生活介護（医療的ケアに対応）」

発達障がい者関係の活動指標について

【年度あたり】

区分	R2(見込み)	R3	R4	R5
①発達障害者支援地域協議会の開催回数	2	2	2	2
②発達障害者支援センターによる相談支援件数	2,846	2,764	2,684	2,606
③発達障害者支援センターの関係機関への助言件数	171	184	197	210
④発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネージャーの外部機関や地域住民への研修、啓発件数	197	205	213	221
⑤ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	321	321	321	321
⑥ペアレントメンターの人数 圏	82	85	88	91
⑦ピアサポートの活動への参加人数 圏	※検討中			

【算出根拠】

①【参考】 H29:2回、H30:2回：R1:2回

※R3～5目標値：各年度ごと令和元年度と同水準の値とする。

②【参考】 H28:3,779件、H29:3,775件、H30:3,560件：R1:2,932件

※平均伸び率：97.1%（H28→H29：99.9%、H29→H30：94.3%の平均）
 （事業所が支援力を身につけ始めたため個別相談は減少傾向。ただし困難事例は増加）
 ※R2見込値：2,932件（R1実績）×97.1%（平均伸び率）
 ※R3～5目標値：前年度目標値×97.1%（平均伸び率）

③【参考】 H28:122件、H29:124件、H30:217件、R1:173件

※平均年間増加件数 13件（H28～R1増加数 51件÷4か年）
 ※R2見込値：過去3年間（H29～R1）平均値
 ※R3～5目標値：前年度目標値+17件（平均年間増加件数）

④【参考】 H28:178件、H29:227件、H30:202件、R1:164件

※平均年間増加件数：8件（H28-H30増加数 24件÷3か年）
 ※R2目数値：過去3年間（H29～R1）平均値
 ※R3～5目標値：前年度目標値+12件（平均年間増加件数）

⑤【参考】 全6回延べ人数H29:421人、H30:420人、R1:321人

※R3～5目標値：各年度ごと令和元年度と同水準の値とする。

⑥【参考】 H29：56人、H30：63人：R1：79人

※R3～5目標値：各年度ごと3人ずつ増加（各区1名ずつの増加を想定）

⑦市内民間事業者等の活動状況をふまえ、発達障害者支援センター等と協議の上検討を行う。